

原子力緊急時支援・研修センター 防災研究開発ディビジョン 航空機モニタリンググループ

有人ヘリコプターによる放射線モニタリング - 福島第一原子力発電所周辺の測定と原子力防災への適用 -

- 福島第一原子力発電所事故により周辺環境に放出された放射性物質による放射線量を調査しています
- 事故後に培ってきた経験と技術を原子力防災に活かすための技術開発等も行っています

有人ヘリコプターによる放射線モニタリングの全体的な流れ

データ取得

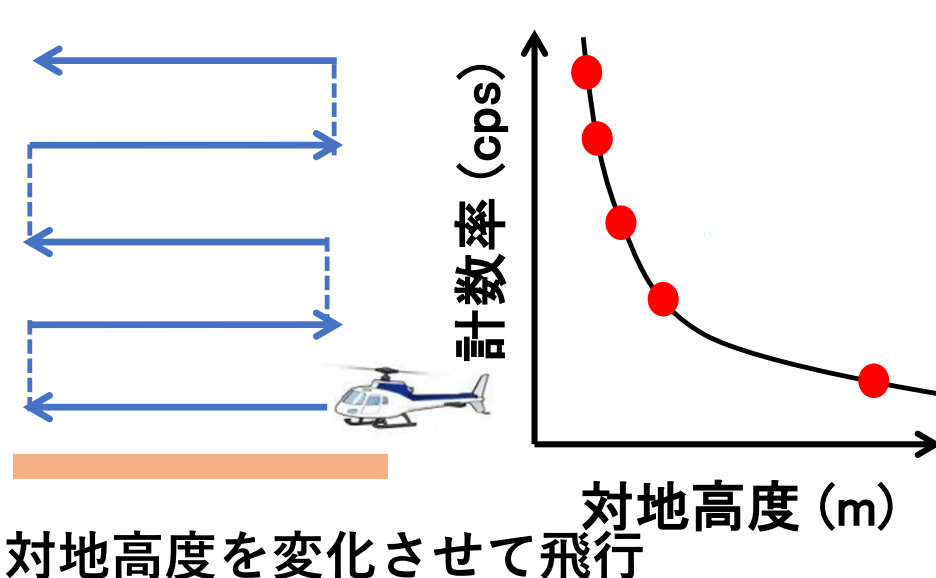
測定エリアを飛行し、放射線の計数率を取得します



換算パラメータ取得

上空で取得した計数率データを地上1m高さにおける空間線量率に換算するためのパラメータを取得します

テスト・ラインフライト
放射線の高さによる減弱を補正するための係数を取得

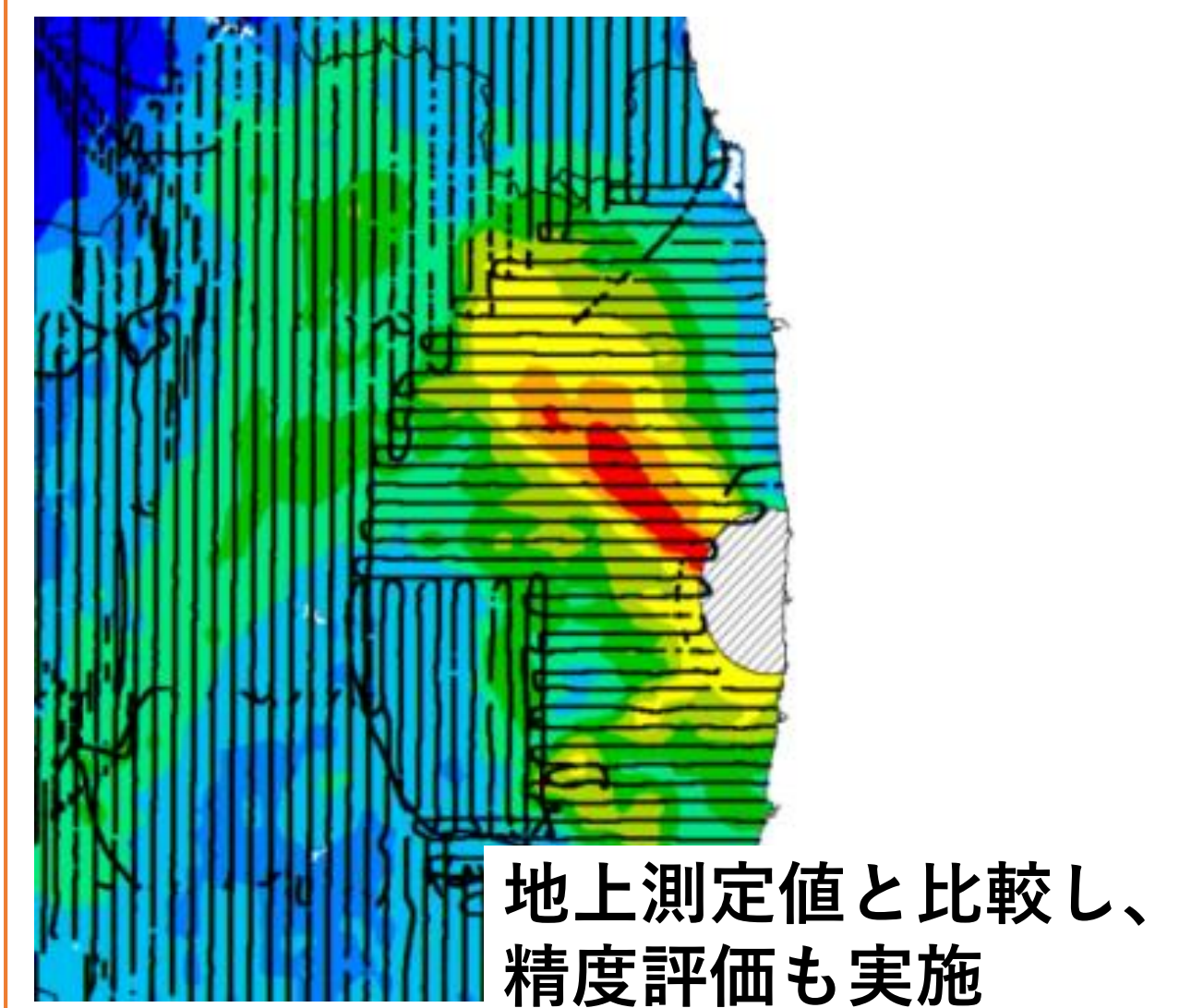


テスト・ポイントフライト
地上1 m高さの空間線量率に換算するための係数を取得



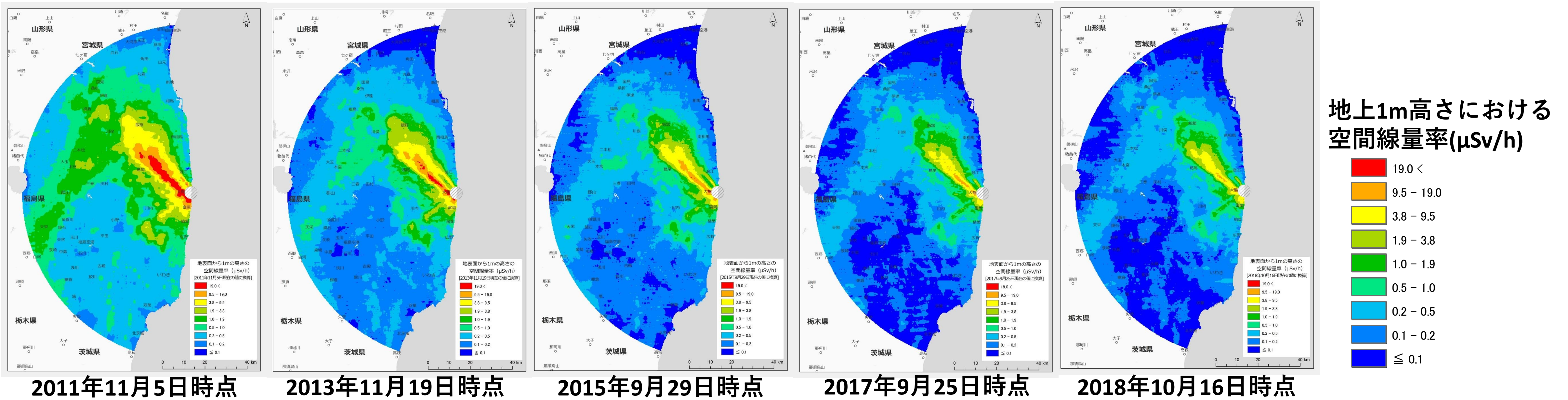
空間線量率マッピング

地理情報ソフトウェア等を用いて、空間線量率をマッピングします



福島第一原子力発電所周辺の測定

2011年の福島第一原子力発電所事故以降、発電所周辺における空間線量率の経時変化を評価しています



原子力防災への適用に向けた取組み

自然放射線量のデータ整備

原子力発電所事故による影響の迅速かつ正確な評価に役立てるため、全国の原子力発電所周辺でモニタリングを行ない、自然放射線量のデータを取得・整備しています

原子力緊急時対応の実効性向上

原子力規制庁・防衛省との協力の下、原子力防災訓練においてモニタリングを実施しています

モニタリングデータの迅速な共有

「リアルタイムデータ通信システム」を構築しました

